50年の絆を未来へ

～ 宮津市公式訪問団がニュージーランド･ネルソン市を訪問 ～

両市の交流は、1974年に、宮津市出身の衆議院議長・前尾繁三郎（まえおしげさぶろう）氏を団長とする国会議員親善訪問団がニュージーランドを公式訪問した際、当時のニュージーランド国会議長のホワイト・ヘッド氏の出身地であるネルソン市を訪問したことを契機に始まりました。ネルソン市にも、本市の「天橋立」に似た砂嘴（さし）である「ボールダー・バンク」があるという地形の類似性に加え、風土や産業などにも共通点があったことから、両国の国会議長の仲介により、1976年に姉妹都市の盟約が締結されました。





▲調印後の両市長

1976年（昭和51年）の姉妹都市提携から50周年を迎えた節目を祝い、さらなる友好関係を深めるため、9月25日から28日までの4日間、城﨑市長と松浦議長をはじめとする宮津市公式訪問団がネルソン市を訪問しました。

海を越えて紡がれてきた半世紀の友情を振り返り、次の10年への第1歩目となる現地の様子を報告します。

9/25 ネルソン市議会議場で行われた公式歓迎会



伝統的なマオリ族の舞踊の披露や、ネルソン市の役所関係者や議員らによる歓迎セレモニーが行われ、城﨑市長が到着の挨拶を述べました。

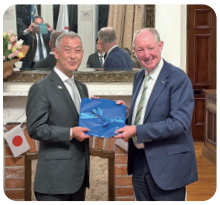
9/26 両市友好のシンボルである日本庭園「宮津ガーデン」にて開催された「チェリーブロッサム･フェスティバル（桜祭り）」





ニュージーランドは、日本と季節が逆で、訪問時には春の訪れとともに桜が咲き始めていました。会場では、ネルソン市民の皆さんによる太鼓の演奏や日本語での合唱などが披露され、長年にわたり両市の交流を支えてこられた皆さんの想いや、両市の交流の深さを再認識することができました。

歴史あるMelrose House（メルローズ・ハウス）での「記念夕食会（Celebration Dinner）」







城﨑市長、松浦議長によるスピーチ、記念品の贈呈が行われ、50年間で培った互いへの敬意と、次の10年に向けた持続的な交流への決意を固く誓い合いました。

市民と触れ合い、まちの歴史を学ぶ

9/27 伝統的な羊農家である（Lone Oak（ローン・オーク））農場や灯台を見学



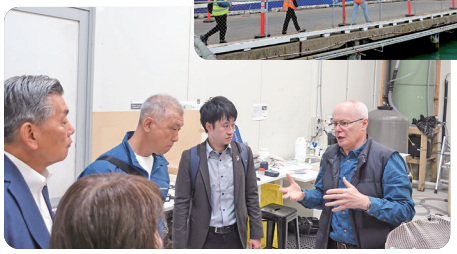
ネルソン独自の豊かな自然と歴史に触れました。

家庭的でアットホームな雰囲気で、ネルソン市民との交流を深めることができました。

9/28 国立の高等専門教育機関であるネルソン・マルボロ工科大学等を視察

海洋分野の学習・研究施設などを訪れ、次世代を担う若者たちの教育交流や技術連携の可能性について活発な意見交換を行いました。





50年という歳月が、いかに強固な信頼関係を両市民の間にもたらしたかを肌で実感する訪問となりました。この温かい友情を次の世代へとしっかりと引き継ぎ、国際感覚豊かな人材の育成につなげてまいります。

問 総務秘書係 TEL 45-1604